

10月 保健センターだより

問 市役所健康推進課(保健センター)(内線 312～317)

母子健康手帳交付

妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援に向けたサービスの説明とお話を伺うため、1時間程度保健師と面談をします。「妊婦のための支援給付」の手続きも行います。ご予約の上、保健センターへお越しください。

●母子健康手帳交付日

平日午前9時30分～午後3時

●電話受付時間

平日午前9時～午後4時

●持ち物

- ☒ 妊娠届出書(医療機関が発行したもの)
- ☒ 本人確認ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証など)
- ☒ 妊婦本人の振込先が分かるもの(通帳、キャッシュカードなど)

相談

事前に市役所健康推進課へ電話などでご予約ください。

子育て相談	
健康相談 (生活習慣病・ 禁煙・こころなど)	保健師による個別相談
歯みがき相談	歯科衛生士による 個別相談
栄養相談	管理栄養士による 個別相談

乳幼児健診

乳幼児健診	実施日	受付時間	対象者	内容など	場 所
3～4か月児健康診査	6日(火)	13:00～13:40	3～4カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。	お子さんの誕生日により、受付時間が異なります。詳しくは個別通知をご覧ください。	保健センター (市役所3階)
1歳6か月児健康診査	5日(月)	13:00～13:50	1歳6～8カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
2歳児ピカピカ教室	28日(水)	9:10～10:10	2歳1～2カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
3歳児健康診査	1日(木) 22日(木)	13:00～13:50	3歳0～1カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
離乳食講習会 ※希望の方は事前に 予約が必要です。 3～4か月児健康診査で ご案内します。	21日(水)	前期 9:10～9:20	5～6カ月頃のお子さん	管理栄養士による 離乳食の講話、 後期のみ歯科講話。	
		後期 10:15～10:30	9カ月頃のお子さん		
ベビー&キッズ計測会	27日(火)	9:30～11:00	未就学児(0～6歳)	身体計測、発育相談、 要予約(5日前まで)	

予防接種について お知らせ

※MR2期・日本脳炎2期・2種混合・ヒトパピローマウイルス感染症予防接種は対象の方へ個別通知をしています。
※MR1期・水痘は1歳のお誕生日前日から接種できます。

予防接種の詳細はこちらからも
ご覧いただけます。▶



支援事業

詳しくは市ホームページ、市役所健康推進課へお問い合わせください。

助成など	内 容	
アピアランスケア 支援事業	がんの治療による脱毛や乳房切除に対するアピアランスケア用品 (医療用ウィッグ・乳房補整具・エビテーゼ) 購入費用の補助をします。	ID1004827
若年がん在宅療養 支援事業	若年がん患者の在宅サービスなどの費用の一部を補助します。	ID1006074
産後ケア事業	産後1年以内の方が、指定医療機関で産後支援を受けられます。(自己負担あり)	ID1003256

がん検診

●個別がん検診

ID1000227

がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳がん)・肝炎ウイルス検診:申込期間中に、希望の医療機関で直接予約をとり、検診票を受け取って受診してください。

検診場所 海部医師会等指定医療機関および海南病院(子宮・乳がん) **検診期間** 10月31日(土) ※海南病院の申し込み締め切りは10月9日(金)まで。

持ち物 がん検診・歯周病検診等受診券、マイナ保険証など、検診料

※胃がん検診の内視鏡検査は、2年に1度の隔年受診です。

今年度受けると、翌年度は胃がん検診(内視鏡検査、バリウム検査とも)を受けることはできません。

※10月は混み合いますので、お早めに受診してください。

●集団検診(バス検診)

ID1005986

保健センターおよび検診バスにて集団検診を実施します。一度に複数の検診を同時に受けることができます。

申し込み方法 <電話・窓口予約> 平日午前9時～午後4時

申込期間 各検診日の10日前まで(土・日曜日、祝日を除く)

※ただし定員に達した場合は、申込期間内でも申し込みを締め切ります。



▲市ホームページ

日 程 料金や注意事項は、広報やとみ6月号や市ホームページなどでご確認ください。

○:空きあり △:残りわずか ×:満員

(令和8年8月10日現在)

日程	30代・特定後期 高齢者健診	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん	骨粗鬆症
10/25(日)	○	○	○	○	○			
10/30(金)	○			○		○	○	△
11/30(月)		○	○	○	○			
12/15(火)		○	○	○	○			

※集団検診は1月まで実施します。(30代・特定後期高齢者健診は10月まで)

問 市役所健康推進課(内線 315・316)

高齢者インフルエンザ予防接種および新型コロナウイルス予防接種のお知らせ

感染症の流行が例年より早いいため接種開始日が早くなりました。各戸配布のチラシ「高齢者インフルエンザ予防接種を受ける方へ」「高齢者新型コロナウイルス予防接種を受ける方へ」には10月15日(木)からと記載されておりますが**10月1日(木)から接種できます**。チラシをよくお読みの上、接種してください。

子どもおよび妊婦インフルエンザ予防接種費用助成のお知らせ

お子さんや妊婦の方のインフルエンザ発症や重症化を予防することを目的に、インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成します。
※下記の指定医療機関での接種のみが助成の対象となります。助成額を引いた予防接種費用を医療機関へお支払いください。

弥富市指定医療機関 あいち診療所おふくろ、おおはしクリニック、小笠原クリニック、かねむら内科ハートクリニック、小林医院、こもれび耳鼻科クリニック、笹医院(中学生以上接種可能)、篠田医院、杉本クリニック、すずきこどもクリニック、そぶえ整形外科弥富、高村メディカルクリニック(中学生まで接種可能)、服部整形外科皮フ科、日比クリニック、村瀬医院、加藤胃腸科・内科とびしまこどもクリニック



※予約開始時期、接種期間、設定料金が異なりますので事前に医療機関にお問い合わせの上予約をお願いします。

ワクチンの種類	対象者	接種回数	助成額	持ち物
インフルエンザ HAワクチン	接種当日に妊娠中の方	1回	1,000円	<妊婦> ●マイナ保険証など本人確認書類 ●母子健康手帳
	1回目の接種日において 6カ月以上13歳未満の方	2回	1回目1,000円 2回目1,000円	<子ども> ●弥富市こども医療費受給者証 ●マイナ保険証など ●母子健康手帳
	接種日において13歳以上で 中学3年生までの方	1回	1,000円	
経鼻弱毒 生インフルエンザワクチン	接種日において2歳以上 中学3年生までの方	1回	2,000円	

予防接種期間: 10月1日(木)～令和9年1月31日(日)

問 市役所健康推進課(内線 314～317)

定期的にがん検診を受けましょう！

2人に1人が発症する可能性があるがん。誰でも発症する可能性があります、早期発見・早期治療をすることで5年後の生存率が90%以上になります。

がんは早期のうちにはほとんど自覚症状がありません。そのため、定期的ながん検診の受診が大切です。

昨年度は以下の人数でがんが発見されており、特に大腸がんが多いです。がんを早期発見し治療できるよう、この機会にがん検診を受けましょう。

★令和7年度 がん発見者数(弥富市がん検診より)

	令和7年度	令和6年度
胃がん検診	0人	2人
肺がん検診	2人	3人
大腸がん検診	6人	4人
子宮がん検診	0人	0人
乳がん検診	3人	2人
合計	11人	11人

★がん検診を受ける方法については、市ホームページをご覧ください。



歯と口の健康講座 10月号 その530

お口の中の細菌

大人の口の中には、300～700種類の細菌が生息しているといわれます。

歯をよく磨く人で1000～2000億個、あまり歯を磨かない人では4000～6000億個、さらにほとんど磨かない人では1兆個もの細菌が住み着いています。

細菌と聞くと、よくないイメージを抱くかと思いますが、お口の中に細菌がいること自体が悪いことではありません。例えば、乳酸菌などの善玉菌は、口腔内の酸性度を調整し、虫歯予防に役立ちます。また、口腔内の細菌は、体内に侵入しようとする病原菌を防ぐ役割もあります。しかし、菌量をコントロールできていないと虫歯や歯周病になるだけでなく、口臭の原因にもなります。そして、唾液を飲み込むことで体内に細菌が侵入し、また、歯周病で炎症(出血)を起こしている歯肉の血管に細菌が入り、全身を巡ることで、全身疾患を引き起こすリスクへとつながっていくのです。

体の健康を保つには口腔内の菌量を良好なバランスで保つことが大切です。

歯周病によって危険性が高まる全身疾患のことを、歯周病関連全身疾患症候群と呼びます。代表的なものをあげると、誤嚥性肺炎や脳卒中、心筋梗塞などがあります。誤嚥性肺炎は、細菌を唾液とともに飲み込むことで、気管支の粘膜や肺に炎症が起こります。高齢者はリスクが高く、重症化すると最悪命を落とすこともあります。脳卒中や心筋梗塞は、歯周病菌が歯肉から血管内に侵入することで、血管が狭くなったり傷ついたりして発症のリスクが高まります。

このように、口腔内の細菌は全身を巡りさまざまな疾患を引き起こすのです。口腔内の菌量をコントロールすることが大切なのはお分かりいただけたかと思います。では、どうやってコントロールしていけばいいのでしょうか。**まず、何より大切なのは口腔内を清潔に保つことです。毎日の歯磨きはもちろん、歯磨きでは取れない汚れは定期的に歯科医院でクリーニングをしましょう。**

(海部歯科医師会)